



R5 年度からこども医療費助成対象年齢を 18 歳まで拡大

12 月補正にシステム改修関連費用 372 万円を計上

令和5年度から、こども医療費助成の対象年齢を15歳から18歳まで引き上げ、子育て支援の充実を図る。まずは、12月補正でシステム改修費用を計上し、制度改正に向けた体制を整える。

■ 内容説明

子育て支援のより一層の充実を図り、こども医療費助成の対象年齢を中学生から高校生世代（満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間）まで拡大する。

まずは、令和5年度からの制度改正に備えて、こども・妊産婦医療費助成システムの改修を行う。

[12月補正予算計上分]

事業費：3,720千円

（内訳）

システム改修費 3,220千円

新受給者証郵送代 500千円

[令和5年度予算（案）対象年齢拡充分]

対象者：市内在住の高校生年代児童 約1,200人

内容：医療費（入院・通院）の無料化

事業費：医療費助成 約20,900千円